

ご存じですか？創薬ボランティア

創薬ボランティアとは「治験」に参加して下さる方のことです。

治験に参加協力をして下さる方のことを、薬を創るためのボランティアなので『創薬ボランティア』と呼んでいます。治験には創薬ボランティアの存在が必要不可欠です。

創薬ボランティアがいなければ、新しい薬は誕生しません。

新しい薬を開発するためには、多くの研究を重ね、まず薬に適したものを選び出し、動物を使って効果や毒性について調べ、その中から薬となるものを探し出します。つぎに、健康な方や患者さんにご協力いただいて、薬としての効き目や安全性について確認します。この健康な方や患者さんの結果をもとに、厚生労働省へ申請し承認されて「薬」は誕生します。この承認を得るために行われる、みなさんにご協力いただく試験のことを、特に**治験**と呼んでいます。治験は参加して下さる方の安全と人権を守り、正しく行われなければなりません。そのために厚生労働省が定めた省令に従うことも義務付けられています。

それぞれの治験は、専門の委員会により、医療センターで実施することに問題はないか、治験に参加して下さる方の安全は守られているか、そして省令に従って進められているかなどを審査され、承認を得られた治験のみ実施されます。

また、患者さんが治験に参加される時には、専門のスタッフ（治験コーディネーター）が時間をかけて説明いたします。

この説明を聴いて、理解し納得でき、ご自身の意思によって同意されて、初めて治験への参加が開始されます。

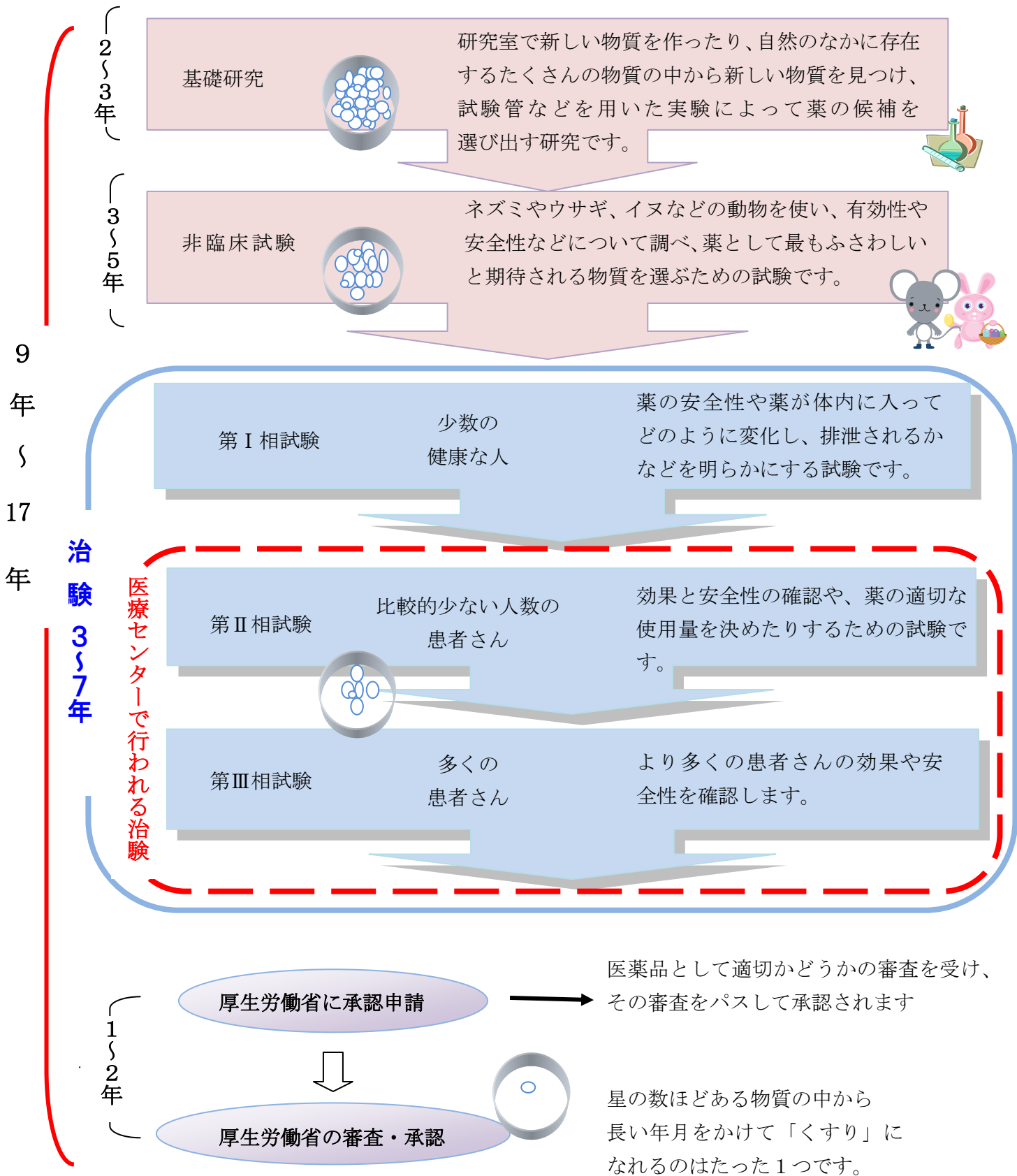
今、私たちが使っている薬はみなさんの協力によって創られた宝物です。

「治験」は私たちにできる“未来への貢献”です。

あなたも『創薬ボランティア』になってみませんか？



流れ 目的



＝治験に参加するメリット・デメリット

治験に参加するメリット

- ◇ 新しい治療を受けるチャンスです。
- ◇ 一般の診療よりも、より詳しい検査を受けることができます。
- ◇ 治験薬を使用している期間は、治験薬と検査の費用を製薬会社が負担するため、医療費の負担が軽減されることがあります。
- ◇ 治験に参加することは未来への貢献につながります。

治験に参加するデメリット

- ◇ 治験中は決められた日程で病院に通わなければなりません。通常の来院回数より増える可能性があります。
- ◇ 服薬を守らなければなりません。また、服薬記録や日誌など、記入していただくことがあり、煩わしい場合もあります。
- ◇ プラセボを服用する場合があります。
- ◇ 治験に参加している期間中は一緒に服用できない薬剤やサプリメント、治療法があります。

ひとくちメモ

～プラセボってなに？～

外見や味は全く同じですが、有効成分を含まない薬のことを「プラセボ（偽薬）」と言います。プラセボを飲んだのにもかかわらず、「薬を飲んだ」という安心感から薬を飲んだ場合と同じような効果が出ることを「プラセボ効果」と言います。治験では、効果と安全性を確認するためにプラセボを使用する場合があります。